

人気漫画「名探偵コナン」ファンにはたまらない新スポット登場

赤井秀一（あかいしゅういち）カラーオブジェ「「緋色の領域（テリトリー）」が加わり
SNS映えするスポットが14スポットに！

『鳥取砂丘コナン空港』

この度、2021年4月23日（金）に人気漫画「名探偵コナン」が愛称に付された『鳥取砂丘コナン空港』に魅力的な新スポットが登場しました。カラーオブジェの常設展示が初となる、作中の登場人物の中でも屈指の人気を誇るキャラクター「FBI捜査官 赤井秀一」カラーオブジェが加わり、既存の撮影スポット、ライブラリーなどと合わせて14のスポットに！SNS映えするスポットとして話題を集めています。

1994年に小学館『週刊少年サンデー』で連載が開始された漫画「名探偵コナン」は、大人から子供まで幅広いファンに支持されています。



新スポット概要

装飾名称 / 赤井秀一カラーオブジェ「緋色の領域（テリトリー）」
設置場所 / 鳥取砂丘コナン空港国際線ターミナル2F国際線出発口
設置内容 /

- ・作中で屈指の人気を誇る「FBI捜査官 赤井秀一」のカラーオブジェを新設。赤井秀一カラーオブジェの常設展示は『鳥取砂丘コナン空港』だけ。
- ・カラーオブジェの周囲は、赤井秀一のイメージにマッチした「ニューヨークの裏通り」を彷彿させる重厚な装飾。
- ・赤井秀一をイメージしたプロジェクションマッピングを投影。カラーオブジェに「映像と音」が連動し、赤井秀一を連想させる世界を体感できる。

プロジェクションマッピング投影時間 / 毎日9:00から15分間隔で投影（当面の間、19:16終了）
オブジェサイズ / レンガ風壁面 W6400×H3610

【 FBI捜査官 赤井秀一とは 】

漫画「名探偵コナン」の第29巻から登場するFBI捜査官。常に冷静沈着で、常人をはるかに超えた推理力と洞察力を持つ。また、ライフルを使いこなす超人的な狙撃の名手であると同時に、ジークンドーという武術の優れた使い手でもある。第59巻で敵対する黒ずくめの組織により殺されたと思われたが、実はコナンとともに仕掛けた偽装工作であったことが第85巻で明らかになった。黒のニット帽と目の下の隈が特徴。母・弟・妹がおり（父は生死不明）、現在コナンファンの間で「赤井一家」が注目されている。

新型コロナウイルス感染予防・拡大防止策を講じたうえで展示を実施いたします。

鳥取砂丘コナン空港

鳥取砂丘コナン空港は鳥取県鳥取市に位置する空港であり、羽田空港への定期旅客便が主に発着する。法令上の名称は「鳥取空港」であるが、近隣に鳥取市の主要観光地である鳥取砂丘があること、漫画「名探偵コナン」の原作者である青山剛昌氏が鳥取県北栄町出身であることになみ、平成27年3月に「鳥取砂丘コナン空港」と愛称化された。空港内には名探偵コナンにまつわる様々な装飾が配置され、この空港にしかないコナン君や蘭ちゃんなどのカラーオブジェや、巨大なトリックアートなどは必見である。

・鳥取砂丘コナン空港の楽しみ方 <https://www.pref.tottori.lg.jp/281610.htm>

・赤井秀一カラーオブジェの登場を記念した「ツイッターフォロー＆リツイートキャンペーン」も開催

詳しくはこちらを参照 <https://www.pref.tottori.lg.jp/297144.htm>

©青山剛昌／小学館

<本件に関するご取材・ご掲載のお問い合わせ先>

担当：和田 <㈱Nene Laco.（ネネラコ）>

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

Tel/06-6225-7885（平日10:00-17:00） Mail/info@nenelaco.com